

山弓連 平成29年第1号

平成29年5月

発行：山梨県弓道連盟

山弓連 新組織でスタート

◆ 人は石垣 人は城 ◆

新会長 菊池 敏彦

平成29年3月19日開催の定期総会において、天野裕会長の後任として新会長に選任していただきました菊池敏彦です。何分にも浅学非才、経験不足の身ではありますが、会員の皆様方のご協力のもと、一所懸命努めさせていただきたいと考えています。退任される天野先生におかれましては、6期12年の長きにわたり、会長として山梨県弓道連盟発展のためにご指導ご尽力をいただきましたことに、心から敬意と感謝を表します。

さて、18支部、登録会員数400余名の本連盟は、総務部、指導部、審査部、競技部、強化部より構成されており、それぞれの活動を通じて、弓を愛好する老若男女がゆるやかに大きく、そして強く結束することが大事と考えます。弓に取り組む考え方は、人それぞれ違います。健康のため、余暇の活用のため、的中を求めるため、求道のため等々、十人十色、百人百色であり、そうである当然と考えます。どの考えが良くてどの考えが駄目ということもありません。弓道場に集い稽古する中で、弓に取り組む考え方の違いを互いに認め、「弓が好き」という一点に集中して切磋琢磨する姿が各支部・各道場で実現されることを願います。

会員数の増加、各種大会の活性化及び県外大会での活躍、研修会の充実、受審者数・昇段昇格者の増加等が本連盟の課題として挙げられます。本会各部の方針のもと、これらの課題に対して県内各道場において創意工夫ある取り組みが期待され

ます。加えて、全弓連では改革大綱を掲げ、様々な取り組みを打ち出してきています。第1回都道府県対抗弓道大会の実施や「公認資格制度」の来年度からの完全実施などがあげられますが、会員の皆様方の全面的なご協力をお願いします。

武田信玄公の「人は石垣、人は城」の言葉に示されるとおり、組織の活性化の活力は組織を構成する「人」にあります。会員一人一人が生き生きと活動することが山梨県弓道連盟の活性化の基本と考えます。会員一人一人が、小異を乗り越え大同のもと「ゆるく大きく力強く」結集し力を発揮してくれることをお願いし、会長就任のあいさつとします。

副会長就任にあたって

副会長 上野 捷利

祖父が仲間たちと弓道の練習をしている姿を見て、和やかで楽しそうに見えました。私が中学生の頃です。それが私の弓道への入り口となり、現在まで続いております。

「平常心」という言葉があります。何事に対しても平静で動揺せず対応できる心と理解しております。「射」は努力しだいで身につくと感じておりますが、「心」は思うようにならず、弓道は自分自身との戦いなのだからと頑張り、自分に勝ちたいその一心で立ち向かうことが心の張りとなり、弓道が続けることができっております。

このたび、副会長にとお話をいただいた折、その器ではないとお断りしたしいですができる範囲でと、心遣いをいただき誠に微力ではありますが、お引き受けいたしました幸いです。皆様の寛大なお心とご協力をいただき取り組んでまいりたいと思います。よろしくごお願い申し上げます。



指導部長就任にあたって

指導部長 古屋 浩元

小林源治さんより引継ぎ、4月に入り2回の講習会が行われました。思っていたより責任重大であり、受講生、部員の熱い心気を感じています。とにかく与えられた職務を自分のできる範囲でやるしかありません。

各部員の人達が、弓道が本当に好きという思い、弓道に対する純粋な思いが大切であり、素直な心をもって取り組んでいただきたい。そいて正しい稽古を地道に積み重ね、自分の弓道をやり抜いて欲しいと思っています。

今年の全弓連の指導方針である、教本及び副読本に基づいた基本の徹底を図り、全国的に統一された指導を行っていきますので、よろしくお願いいたします。

競技部長就任にあたって

競技部長 京ヶ島 俊人

今年度より、競技部長の大役を仰せつかった訳ではありますが、内心「何もわからんのに、競技部長になってしまった。」というのが今の正直な気持ちです。

昨年度、1年間副部長をやらせて頂きましたが、実は、競技部としての具体的な仕事や役割として、細かい点で、見えていないことが多くあります。が、長年お世話になっている山弓連の皆さんのために、少しでもお役に立てるようやっていければと考えています。

年度当初、菊池会長から『私も、競技に出場する。』というお言葉もあり、競技部のみんなで競技の運営をやりながら、競技に出場する事を楽しみ、山弓連を少しでも盛り上げてゆければと考えているところです。

至らない点多々あるおと思いますが、会員の皆様のご理解、ご協力、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

山梨県弓道連盟 役員

名誉会長	中澤利正
名誉会長	天野裕
顧問	秋山照美
顧問	古屋俊彦
会長	菊池敏彦 新任
副会長	上野捷利 新任
副会長 理事長	森岡博文 新任
副会長	青野孝文
理事 総務部長	芦澤茂幸
理事 指導部長	古屋浩元 新任
理事 審査部長	西堀泰弘
理事 競技部長	京ヶ島俊人 新任
理事 選手強化部長	深澤武重

退任のご挨拶

前会長 天野 裕

青葉若葉の爽やかな季節になりました。会員の皆様にはご健勝にお過ごしのことと拝察いたします。平素、山梨県弓道連盟の諸活動に積極的にご参加していただき厚く御礼申し上げます。

さて、去る三月の総会において会長の職を退任させていただきました。大過なく退任できましたのは会員諸氏の長い間のご支援ご協力の賜であり、心から感謝しております。有り難うございました。

顧みますと、平成17年4月から本年3月まで6期12年間本連盟の統括をさせていただきましたが、当初は一般会員数が600名を超えておりました。

ところが、平成20年に国民体育大会関東ブロック大会を山弓連が主管するにあたり、予算措置が間に合わない事態に気付きました。それは数年以前に「山弓連 半世紀の歩み」を出版しており、数百万円を出費していた為でした。そこで役員の方々と相談の上、理事会、評議員会、総会での承認をへて現行の会費体系を実施に移しました。その結果、関東ブロック大会の運営費を捻出するこ

とは出来たものの、値上げされた会費の所為でその年から県連に会費を納入しなくなる一般会員の方が年々増加して、加えて高齢化も伴い現在は400名を僅かに超える程度になってしまいました。人口の多い周辺都県の地連とは何事においても比べようは無いわけですが、全国の仲間に伍して弓道を嗜み、楽しむ為には全国組織、関東地域の組織に所属する必要があります。一人でも多くの仲間を身近に増やす努力を是非継続して頂きたいと願っております。

弓道の真髄を求める、的中のみ求める、仲間との交流を楽しむなど様々な考えや目的で弓に取り組む集団です。その価値観に貴賤上下の別は無いわけですが、的と対峙した時には射手の人柄や全人格が顕現される点が面白くもあり、厳しくもあり、弓が人を惹き付ける理由かも知れません。弓道を始める動機は様々ですが、先ずは的中の快感を味わってもらう所から始めて会員増加を図りたいものです。

弓に関して浅学非才の私が高校でのクラブ指導、連盟会員の指導、弓道教室等をさせていただいた過程では、教えたことよりも遥かに多くのものを学ばせて戴きました。「教えることは学ぶこと」と言いますが、正にこの諺を体験させていただきました。この四十数年間の活動を評価していただき、文部科学省から平成27年度生涯スポーツ功労者の表彰を戴いたことは身に余る光栄でした。その際、多くの会員の皆様から祝福していただいたことは終生忘れられない喜びであり感謝しております。

後任の菊池敏彦会長初め役員の方々には、私にお寄せ戴いた以上のご支援ご協力をお寄せいただき、山梨県弓道連盟がますます充実・発展して行くことを衷心より祈念しております。



大会結果

全国ねりんピック県予選

平成29年4月9日(日) 小瀬武道館弓道場
参加者 15名 ※女性参加者1名

第30回全国健康福祉祭 あきた大会

決定代表選手

市川 明 五段(笛吹)、小林好雄 四段(大月)
菊島喜代子 四段(笛吹)、伊藤 昇 錬六(大月)
内藤幸雄 錬六(中央) 以上5名
補欠 嵯峨崇 四段(大月)、曾根敦子五段(笛吹)

全国勤労者選手権県予選

平成29年4月9日(日) 小瀬武道館弓道場
参加6チーム 6企業

・ファナック

選手 渡邊 英幸(8中)、渡邊 亮(6中)、
鍵和田哲史(5中) 合計19中

・横河電機(株) 甲府事業所

選手 寺島 弘祐(3中)、山田 久美(3中)、
宮下 宝(1中) 合計7中

・日立AMS

選手 高橋 恭平(2中)、深沢 雄一(3中)、
長澤 和久(6中) 合計11中

・石原工業

選手 藤本 航也(2中)、加藤 一輝(3中)、
神田 英彦(2中) 合計7中

・教職員

選手 内藤 良太(6中)、標 輝人(6中)、
京ヶ島俊人(6) 合計18中

・松下製作所

選手 進藤 高(6中)、古屋 仁(5中)
合計11中

第64回全日本勤労者弓道選手権大会 (敦賀)

代表チーム

- ① 日立AMS
- ② ファナック

段位別選手権大会 兼 全日本・関東選抜一次予選、都道府県対抗弓道大会県予選

平成29年4月16日(日) 小瀬武道館弓道場
参加102名 射数4矢2回 計8射

●段位別選手権大会結果

参段以下の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数
優勝	内藤良太	南アルプス	初段	7
2位	森野洋二郎	富士吉田	初段	6
3位	中村寿明	上野原	二段	5

四段の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数
優勝	伊藤大智	斐崎	四段	8
2位	青島 勉	中央	四段	7
3位	山本一博	教職	四段	4

五段の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数
優勝	上條剛央	上野原	五段	7
2位	渡辺裕介	甲府	五段	6
3位	渡辺元樹	富士吉田	五段	6

2位、3位は遠近競射による。

称号の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数
優勝	綿奈部博史	甲府	教士六段	7
2位	京ヶ島俊人	教職	教士六段	7
3位	柳本武彦	甲斐	錬士五段	6

1位、2位は射詰め競射による。

なお4中以上が全日本・関東選抜二次予選に進出

● 第1回都道府県対抗弓道大会

出場選手決定

本年7月18日(火) 日本武道館で行われる第1回都道府県対抗弓道大会の出場選手が以下のよう
に決定した。

監督 菊池 敏彦

選手1 上條 剛央 選手2 伊藤 大智

選手3 京ヶ島 俊人 選手4 高埜よしみ

選手5 綿奈部 博史

補欠 内藤 良太 佐藤 麻紀

本大会は今回第1回大会として開催される。
出場選手5名は、50歳未満2名、50歳以上3
名で構成し、うち1名以上が女性選手であること
との条件がある。実施要項の詳細は全弓連ホーム
ページを参照ください。

講習会

● 五段以上講習会

平成29年4月2日(日) 小瀬武道館弓道場

受講者数 五段17名 称号者18名

主任講師 範士八段 佐久間 剛先生

講師 教士六段 菊池 敏彦会長

講習内容：・三人一ツの射礼

標 衣枝 教士六段

芦澤 茂幸 教士六段

菊池 敏彦 教士六段

・審査の一次方式行射し、後に各受講生の射技研
修。 ・講話では手の内の事、先生の受審体験談
も聞くことができました。

● 四・五段対象講習会

平成29年4月23日(日) 小瀬武道館弓道場

受講者数 四段11名 五段10名

主任講師 教士六段 芦澤茂幸

講師 教士六段 菊池敏彦

補助講師 教士六段 古屋浩元、錬士六段、佐野
弥生、錬士六段 標哲也

講習内容：・矢渡しにおける第一介添・第二介添
・審査方式で行射 ・選抜5名による持ち射の射礼
・平成29年度指導方針である指導項目の正しい
歩き方の指導 ・連合審査(4/30)に向け、入
退場の講習 ・射技指導

昇段おめでとうございます

関東地域連合審査(甲府)

平成29年4月30日(日) 小瀬武道館弓道場

五段 米長 朝喜(富士川)

四段 佐々木 重雄、西尾 哲(大月)

支部だより

都留市制63周年祝賀弓道大会

4月23日(日) 都留市弓道場に於いて、中学生、
高校生、一般(大学生含む)の参加者46名によ
り大会が開催されました。四ツ矢2回 計8射で
競い、競射の後には余興として、色的、金的を行
いました。(都留支部長 石倉)

中学生			一般			
優勝	竹田 琴美	4中	優勝	高部 保延	都留	7中
2位	菅田 美歩	4中	2位	若杉 年久	春日井	6中
3位	佐藤 天音	3中	3位	鈴木 優	都留文大	5中
(1,2位遠近競射)			4位	豊田 浩正	甲府	5中
			5位	市川 明	笛吹	5中
			6位	大竹 爽太	都留文大	5中
高校生			7位	佐々木 重雄	大月	5中
優勝	佐藤 祐輔	4中	8位	桑原 良	富士吉田	5中
2位	渡辺 佳翔	3中	9位	中村 匠社	都留文大	5中
			10位	長坂 五三夫	大月	5中
			(3~10位遠近競射)			

訃報

謹んでお悔やみ申し上げます

大村 利正(教六) 平成29年3月29日 81歳

編集後記

新年度を迎え、広報担当も新藤さんから綿奈部に代わり
ました。新藤さん長年ご苦労さまでした。
これからもできるだけ多くの情報を皆様に伝えていき
たいと思います。

ご意見、ご要望を下記にメール頂ければ幸いです。

koho39ren@tb4.so-net.ne.jp (綿奈部)